

令和 6 年度 第 5 回 豊田市井郷地域会議 会議録

開催日時	令和 6 年 9 月 1 8 日（水）	開会	閉会
		午後 7 時	午後 7 時 5 5 分
会 場	猿投コミュニティセンター 2 階 大会議室		
出 席 者	地域会議委員：1 6 人		
	会長：磯村 貴史 副会長：加藤 真郎		
	委員：池田 秀夫 伊東 由岐雄 伊藤 璃那 後田 澄夫 梅村 秀明 浦野 みち子 加藤 俊治 新宮 敏雄 杉坂 正美 杉山 寿人 林 輝雄 林 文吾 福岡 信明 藪原 勇		
欠 席 者	0 名		
傍 聴 者	なし		
事 務 局	猿投支所：梅村副支所長、宮石担当長		
内 容	1 豊田市民の誓い 2 会長あいさつ 3 地域課題解決事業の検証 4 令和 6 年度の地域課題解決事業について 5 令和 7 年度の地域課題解決事業について 6 わくわく事業の現場訪問について 7 情報共有・事務連絡		

■ 議事（要約）

3 地域課題解決事業の検証

・「治安のよいまちづくり事業」について、前回の意見を踏まえ修正した「地域会議の評価」と「追加事業の有無」を事務局が説明

委 員：前回の自分の発言意図は、防犯灯設置の義務化を条例で制定すべきということであった。また、「街路灯」の表記は、「防犯灯」で統一すべきだと思う。

事務局：漢字誤字はご指摘のとおり修正したい。前回、「街路灯」と発言があったので、表記しているが、「防犯灯」で統一したい。

委 員：追加事業の必要性について、「仕組みの検討が必要」とあるが、主体はだれになるのか。

事務局：市と考えている。

委 員：四郷の区画整理事業で言えば、当時無電柱化を検討したが防犯灯が設置し難いため行わなかった経緯がある。現在区画整理事業では無電柱化が条件となっている。開発に伴う新規宅地の防犯灯設置は市でしっかりと制度化する必要がある。

委 員：天道地区は 4、5 件の小規模開発が多い。大規模だけでなく、小、中規模開発についても対象としてほしい。

事務局：今回の検証は、次の提言に向けた材料としていきたい意図がある。
議論の後半であった意見は市全体に及ぶものでもあった。次回の井郷地区の提

言ができると良いと考える。

委 員：仕組みの検討、条例化は必要であろうが、現状の文面で意図は通じると思う。

委 員：修正案のとおりとしたい。

- ・過年度に「水辺環境づくり事業」について、事務局が資料、現況写真に基づいて説明
その後、個人で事業評価を行い回答シートを作成（１５分）
（質問等）

委 員：水無瀬川の浚渫は、今後計画的に行われるのか。

事務局：所管課である河川課に確認したが、今年度は護岸修繕を行う予定であり、浚渫の予定はないようである。

4 令和６年度の地域課題解決事業について

- ・事務局が「安全で安心して歩けるまちづくり事業」について、交通安全講演会の開催状況を写真に基づき報告。また速度抑制啓発物品のデザインについて、資料に基づき説明。

委 員：ガラス面に貼付けることで、後方が見え難くならないか。デザイン案の「ゆっくり」という表記は捉え方によって不快に感じる方もいるのではないか。「法定速度で走行中」を大きくした方がよいのではないか。

委 員：同意見。「法定速度で走行中」だけでもいいのではないか。

事務局：頂いた意見を参考に、検討していく。

5 令和７年度の地域課題解決事業について

- ・「安全で安心して歩けるまちづくり事業」について、事務局が資料に基づき説明
意見、質問なし

6 わくわく事業の現場訪問について

- ・下古屋の環境を守る会
上記団体の活動状況を事務局より報告
- ・わくわく事業の現場確認の予定について事務局が情報提供を行った。

7 情報共有・事務連絡

委 員：表記の中で、時期が不明確な部分がある。今後、時期を明記すること年度表記は和暦で統一して頂くことをお願いしたい。

事務局：承知した。

（次回の予定）

日 時：令和６年１０月１６日（水）午後７時から

場 所：猿投コミュニティセンター ２階 大会議室